

社史の魅力と

その活用法

社史は、「企業が自社の歴史を、社内資料に基づいて著したものである。中部地方産業研究所でも社史を収集しているが、「読まれない本の代表」のような存在である。村橋勝子氏は、「情報便利屋」を自認するフリーライターとしての仕事のかたわら、ふとしたきっかけで社史に関心をもち、社史の研究を開始した。約1万点におよぶ社史に目を通し、その面白さ、奥深さについて著書や講演で発信してきた。社史は、企業や経営者だけでなく、地域の歴史としても興味深い情報を提供してくれる。今回、村橋氏に社史の魅力やその活用法についてお話ししていただく。

2019.7.6(土) 13:30
15:30

愛知大学豊橋校舎研究館1階 第1・2会議室

開会挨拶 阿部 聖 (地域政策学部教授・所長)
司会進行



社史研究家 村橋 勝子氏

(ご講演90分程度、質問時間20分程度)

経済団体連合会(現・(一社)日本経済団体連合会)元・情報メディアグループ長。在職中に約1万冊の社史現物を観察して斬新な切り口で多面的に実態分析し、『社史の研究』(ダイヤモンド社、2002年)にまとめる。ほかの著書に『らぼん 企業家烈伝』(2007年)、『カイシャ意外史:社史が語る仰天創業記』(2008年、ともに日本経済新聞出版社)。一般にはなじみのなかった「社史」という情報領域に潜む尽きせぬ魅力を広く一般に紹介した社史研究の第一人者。



愛知大学

中部地方産業研究所

愛知大学中部地方産業研究所 TEL 0532-47-4140
〒441-8522 豊橋市町畑町1-1 FAX 0532-47-4187



愛知大学 AICHI UNIVERSITY

